

～ 水しぶき知っとく情報 ～

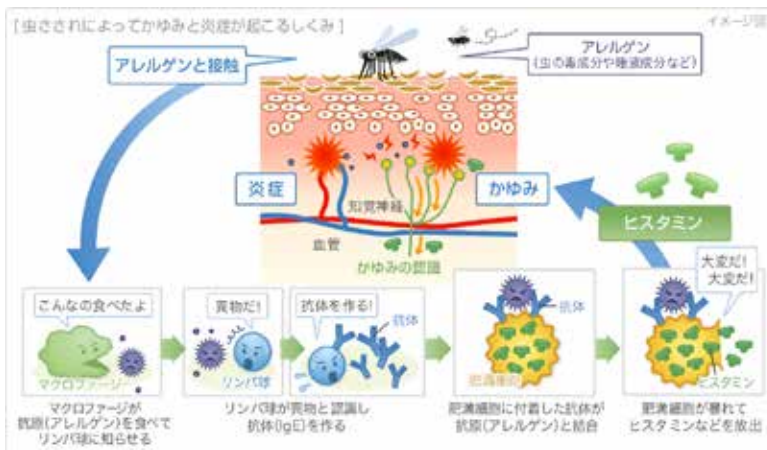


かっぱの知恵袋

『虫さされ対策』について

あたたかい季節、無防備に野山や草むらにいますと、たちまち虫の標的になってしまいます。虫さされは春から秋にかけての代表的な皮膚トラブルです。かきすぎて化膿したりすることのないよう、上手に対処しましょう。

虫刺さされかゆみの原因



虫が皮膚を刺したり咬んだりしたときには、虫が持っている毒成分・唾液成分が抗原(アレルギー)となってからだの中の抗体と反応し、ヒスタミンなどのかゆみの原因物質が分泌されてかゆみや炎症などを引き起こします。つまり多くの虫さされは、虫の毒成分などに対するアレルギー反応の一つなのです。

また、毒成分が注入されるとき物理的な刺激そのものによっても、炎症が生じます。このような症状は年齢や刺された頻度、体質による個人差が大きいのですが、一般的にアレルギー体質の人は症状が強くなるといわれています。

虫にさされたらどうする？

毒性の強い虫にさされたときや、水ぶくれ、痛みが強い場合などは、すぐに医療機関で診てもらいましょう。虫さされに似た発疹にも注意が必要です。軽度のかゆみや赤みであれば患部を清潔にし医薬品を使ったセルフケアで対応しましょう。さした虫の種類や症状に応じて、くすりは使い分けるようにしてください。

セルフケアのコツ

患部を水で洗い流すなどして清潔にしたあと、かゆみや腫れを抑える医薬品の外用薬(塗り薬)を塗りましょう。患部を冷やすとかゆみがある程度抑えられることもあります。また、かき壊しによる二次感染や悪化を防ぐため、できるだけかかないように我慢しましょう。それでも子どもの場合はついつかいてしまいがちなので、爪を短く丸みがつくように切っておき、虫さされ用のパッチを貼るなどして防ぎましょう。

【セルフケアのコツ】

1 患部を清潔にする

2 患部を冷やす



傷口をよく洗い流し、清潔に。
ハチにさされた場合に口で毒を吸ったら、すぐに吐き出しましょう。

忘れ物について

持ちものにはかならず名前をかきましよう!!

◎ 名前なしの忘れ物は自動販売機そばの忘れ物棚に曜日別でおいてあります。忘れた日から 1ヶ月すぎたものは処分させていただきます。

☆ 名前が記入してあるものは、きちんと保管してあります。事務所か各先生にお問い合わせください。

わすれないでね☆

